

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株	
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	中島 強太	
作業名称	繁忙期対策工 渋滞監視業務	作業手順書	作成年月日	令和4年7月22日	
使用機械 使用設備	自走式標識車 1台		改正年月日	令和6年3月22日	
			現場責任者		
使用工具、機器	シラスンダー、からまんで-W、レッドホーンW		協力会社	会社名	
			協力会社責任者	自筆サイン	
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、手袋、視認性の良い作業着、自発光チョッキ(夜間及びTN内)、熱中症対策		作業順序		
材料	なし				
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(中型)				
作業人員	作業責任者 1人、保安員 1名 合計 2名				
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和4年7月28日		
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)				
				1	事前準備
				2	出発～現着
				3	作業開始
				4	離脱～帰着
				5	後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△ △×、×△ ××	3:中程度 4:かなり大きい 5:極めて大きい	職長が確認 工事担当責任者が確認 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネットシート掛けの確認する。 <b>工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。</b> 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業者へ周知・報告すること。 <b>車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。</b>							
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
事前準備	出発前の車両点検及び道具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	車両点検不足により、監視業務作業時に車両トラブルが発生する	△	○	△○	2	品	事前点検の徹底、車両不良時は早急に車両変更を実施する
出発～現着	基地(事務所)出発及び路肩流入・現着	高山HSC 当番課長より指示が有り、現地へ向かう 現場付近の路肩及び車線内への流入を行う	雨天時及び混雑している際、一般車両と追突する 後続車への注意喚起が遅れ、線形や視界が悪い場合追突される	○	×	○×	3	公	走行速度に十分留意し、視界が悪い場合は速度を落として走行する
			路肩警戒作業時、車両トラブルが発生し停車する	△	○	△○	2	品	道路線形等を考慮し500m以上手前から回転灯、表示等を明示する(視界が悪い場合は、1km以上手前より実施) 故障発生時は、一宮道路管制センターへ連絡すると共に、高山HSC 当番課長及びメンテ当番班長へ連絡する
作業開始	後尾警戒開始	現地到着後、高山HSC 当番課長へ開始連絡をする	情報提供時、一般車両に追突される	○	×	○×	3	安	警戒作業時は、道路線形等を考慮し一般車に早期認識してもらう位置にて実施する。
離脱～帰着	離脱及び帰着の実施	高山HSC 当番課長より終了及び離脱連絡有り	離脱、本線合流時に一般車と接触する	△	△	△△	3	安	本線流入時、後方車両の間隔距離を確認する ※TN内 無灯火車両の場合は要注意
後片付け	後片付け・機材整理	点検不備により翌日出発時に故障が発見される	翌日作業時、車両故障等により出発が遅れる	△	○	△○	2	品	作業終了時も、出発前と同等の点検を行い、車両不良時は修理及び代替え車の調整をメンテ当番班長へ連絡する 工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知